

2020年度 デイサービスひろば 事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

公表 2021年3月4日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切である	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>空いているスペースを有効利用していない</li> <li>利用人数や年齢の高い児童が多くいると狭く感じることもある</li> </ul>
	②	職員配置数は適切である	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>宿題に付きっ切りになったり、1対1の対応が多くなると少ないと感じることがある</li> </ul>
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>バーテーションの定等が完全にバリアフリー化はされていない</li> </ul>
	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に開く職員会議にて意見を話し合っている。</li> </ul>
業務改善	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン研修を実施</li> </ul>
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>同じ人がすることが多い</li> </ul>
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>複数人のスタッフで作成するようにしている</li> <li>固定化されないよう、作成時に変化をもたせている</li> </ul>
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>状況に応じて対応している</li> </ul>
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>すべてが支援開始前ではない。児童の状況を見ながら、活動中に相談することもある</li> </ul>
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	⑰	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
関係機関や保護者との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在医療的ケアが必要な児童は利用されていない</li> </ul>
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>すべてにおいてではないが、必要に応じて行っている</li> </ul>
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス	○			

		事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		・スーパーバイザーの助言をいただいている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	27	(地域自立支援)協議会棟へ積極的に参加しているか	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・話をする機会を設けてはいないが、必要に応じて提案、アドバイス等を行っている
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・保護者会(交流会)を実施している
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・状況を正確にとらえ、保護者が納得するよう話をしていく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・定期的な訓練の実施
	40	虐待を防止するため、職員研修機会を確保する等、適正な対応をしているか	○			・オンライン研修への参加
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	・過去に身体拘束を行ったケースがない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか			○	・保護者に確認した上で、おやつを提供している ・医師よりの情報はもらっていない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・事例の把握→考察→対策→評価まで共有できるようにしたい